

# 入院診療計画書② NEW3泊4日心房細動アブレーション(月火水木入院)

患者ID: 0  
患者氏名: 0

新規作成日: 2021年1月28日

| 日付     | 1/1   |  |   |  | 1/2   | 1/3   |  |
|--------|---|--|---|--|---|---|--|
|        | 手術前日  | 術前   | 術中  | 術後   | 手術翌日  | 手術翌々日   |  |
|        | 基準日   |  |   |  |   |   |  |
| 目標     | 説明を受け、治療に対する知識を持ち、治療に対する不安を軽減することができる。術前の身体的準備ができる。   | 手術に対する不安が軽減でき、手術を安全・安楽に受けることができる。  |   | 必要な安全を守ることができ、合併症を起こさず安静解除が行える。  | 退院後の生活に対する指導を受け、自宅療養の注意点を理解する事ができる。   | 合併症なく、退院する事ができる。  |  |
| 投薬     |  お薬をお預かりします。入院中は変更が多いため看護師が管理します。            | 当日の内服薬は必要なものだけ内服します。   |   | 薬は変更の可能性があるため、看護師がお渡しします。  | 抗生剤を5日間、胃薬を30日間内服を開始します。  | 退院後の療養上の注意点<br><運動><br>日常生活・事務・家事は退院後すぐに可能です。<br>肉体労働は3日後、運動は1週間後から可能です。<br><喫煙・飲酒><br>症状が安定するまでの1か月間は禁酒となります。また喫煙は、血管収縮や発作の誘因、身体的影響が大きいため禁煙をおすすめします。                   |  |
| 注射     | 経食道エコーで使う麻酔用に点滴ルートを確認します。   | 病室で点滴を始めます。  |   | 安静解除になるまで点滴を続けます。  |   |   |  |
| 治療検査   | 放射線   | X線撮影があります。   |   |  |   | X線撮影があります。  |  |
|        | 検体検査  | 血液検査・検尿があります。  |   |  |   | 血液検査があります。  |  |
|        | 生理機能検査  | 心電図と食道を通じて血栓の有無を調べる超音波(経食道エコー)があります。   |   |  |   | 心電図があります。   |  |
| 処置     | 足の付け根の毛を剃ります。<br>両手首と足の甲、<br>動脈の触れるところに印をつけます。  | 手術着に着替えT字帯をつけ、<br>弾性ストッキングをはきます。<br>歩行で手術に向かいます。   | 手術中は麻酔で眠りますが、<br>安全のため手足を固定します。<br>カテーテルを挿入する<br>首と足の付け根を消毒します。 | 手術部位の血が止まったら、<br>医師が消毒します。<br>血栓予防のためストッキングのほかに、<br>帰宅後足のマッサージ機を使用します。   | 穿刺部の抜糸を行います。<br>消毒してガーゼへ変更します。  | 看護師が傷を確認し、<br>ガーゼからカットバンに変えます。<br>翌日カットバンを剥がしてください。<br>はがれてしまった時は出血がなければ、<br>そのままかまいません。  |  |
| 食事     | 当日の朝食は8時までに済ませて下さい。<br>以後は許可されるまで<br>飲んだり食べたりできません。<br>喉の渇きが強いつきはうがいなら可能です。<br>8時以降の飲水に関しては入院後、<br>看護師へご確認ください。               | 午前手術は、朝食は食べられません。<br>午後手術のは、<br>朝食を半分、昼食は食べられません。<br>水分摂取は可能です。                                    |   | 帰宅直後よりお水が飲めます。<br>食事は帰宅2時間後に食べられます。<br>安静解除の時間までは<br>寝たままの状態での食事摂取となります。<br>夕食は寝た状態でも<br>摂取しやすいように携行ゼリーが出ます。                                       | 朝から通常の食事へ変更されます。  | 退院後の治療計画<br><br><内服><br>・ワーファリン・その他の内服薬に関しては医師の指導に従い継続してください。<br><不整脈を自覚したら・・・><br>主治医の指導に従い対応してください。<br><出血したら・・・><br>傷口から出血がありましたら、<br>病院へご連絡ください。<br>046(822)2710 外来 |  |
| 排泄     |   | お小水を出すための管をいれます。   | 術前に挿入した<br>お小水を出す管で対応します。                                       | 歩行できるようになるまでは、<br>お小水の管を使用し、<br>お通じは床上排泄となります。   | 特に制限はありません。   |   |  |
| 活動・安静度 |  特に制限はありませんが、<br>病棟を離れる際は<br>看護師に声をかけて下さい。 | 手術前までは原則制限はありませんが、<br>病棟を離れる際は<br>看護師に声をかけてください。   | 手術終了後、医師が<br>カテーテルを抜き10分程度止血します。<br>その後ベルトで固定します。               | 完全に止血されるまで、ベッド上安静となります。<br>通常6時間は寝返りも行えないので、<br>看護師が介助します。<br>止血ベルトが外れたら許可された範囲内で<br>動くことができます(寝返り可、椅子座り可など)。<br>※傷口の状況によっては、<br>安静時間が延長することもあります。 | 安静解除後、院内フリーになります。<br>しかし、病棟で<br>心電図波型を観察しているため、<br>病棟を離れる場合には<br>看護師へ声をかけて下さい。<br>また長時間病棟を離れると、<br>心電図の観察が出来ませんので、<br>極力短時間をお願いします。 |   |  |
| リハビリ   | 特にありません。  |  |   | 抜糸後看護師とともに歩行し、出血がなければ自由に歩行できます。リハビリの必要はありません。  |   |   |  |
| 観察     | 身長、体重を測定します。<br>午後・就寝前に検温をします。  |  | 気分不快などがありましたら教えて下さい。  | 手術後、心電図モニターを<br>退院時まで装着します。  | カテーテル挿入部の観察をします。<br>血圧、体温、脈拍の測定をします。  |   |  |
| 説明・指導  | 医師・看護師から手術の説明があります。<br>入院案内・転倒転落のビデオをご覧下さい。<br>手術の時間は夕方までにお伝えします。<br>薬剤師から持参薬の確認と新たに<br>処方される薬の説明があります。                       | 家族は手術が終わるまで病室、<br>またはデイルームでお待ち下さい。<br>マニキュア・補聴器・入れ歯・指輪・眼鏡・<br>コンタクトレンズなどの装飾品は、<br>外してご家族の方へ預けて下さい。 | 手術終了後は病棟の看護師が<br>ストレッチャーで迎えに来ます。<br>ご家族の方も一緒に手術室へ向かいます。         | 手術終了後、ご家族と面会していただきます。<br>手術終了後から退院までに<br>医師より結果についての説明があります。<br>ご家族の方も一緒に聞き下さい。  | 退院後の注意事項について、<br>看護師から説明いたします。<br>詳しくは当日配布される<br>パンフレットを御参照下さい。   | 10時前後にお預かりしたお薬と退<br>院後お薬、診察券、会計用紙を<br>渡します。<br>会計終了後、領収書を病棟事務<br>に見せて下さい。   |  |
| 清潔     | 手術部位の清潔のため、<br>シャワーを行います。   | 手術当日は、シャワーは入れませんが、消毒液などを除去してパジャマに着替えます。  |   |  | 体拭きを行います。   | 退院後からは<br>傷をこすらないようにし、<br>入浴可能です。   |  |